

令和7年度 英語教育推進事業 取組内容

美濃加茂市立太田小学校

【 研究テーマ 】 学習到達目標を軸にした単元の構想と必然性のある言語活動

<研究内容1>

□ 学習到達目標につながる単元の目標の設定と単元構想の工夫

学習到達目標 小6 話すこと【発表】

・宝物やふだんしていることなどについて、伝える順番を決めたり選んだりした上で、聞き手に分かりやすく話すことができる。

・身近で簡単な事柄（身の回りのものや生産国）について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

単元の目標 話すこと【発表】ウ

海外の小学生に日本と世界のつながりを分かりやすく伝えるために、身の回りのものの生産国や生産品の良さをグループで発表し、「世界つながりジャンルベスト3」を選んでもらう活動を通して、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。

発達段階（学年）に応じて、学校で設定した学習到達目標のどの文言に着目するのかを考え、単元の目標を設定しました。特に『海外の小学生に』という相手意識を高めて「本物のコミュニケーションの場」を設定しました。

□ 単元を通じた必然性のある言語活動(オンライン交流)の工夫



児童の意欲を引き出すとともに、単元の終末の活動に向けて、一単位時間ごとに身に付けさせたい力を明確にして指導しました。

今回のオンライン交流会を通して、英語で話すことや聞くことは難しいと感じたけれど、あきらめずに自分の思いを伝え続けることで、それが伝わった時に本当にうれしかったし楽しかった。またいろいろな国の人と交流してみたいと思った。

分かりやすく伝えるために、授業で大切にしてきた「伝えたい内容のつながりを加えたり、伝える順番を考えたりして話すこと」「伝えたい部分を繰り返したり、相手に確認したりすること」が意識できてよかった。これからの授業でも大切にしていきたい。

<研究内容2>

□ 学習課題に粘り強く取り組む指導方法（言語活動間指導）の工夫

⑥【世界つながりPR動画の撮影】 本時

Goal 日本と世界のつながりが分かりやすく伝わるPR動画を作ろう。

Text P.52,53 Enjoy Communication II「世界とのつながりを交流しよう。」

海外の小学生に日本と世界のつながりを分かりやすく伝えるためには、伝える内容の順番を考えたり、紹介するものの良さや自分の考えや気持ちなどをわくわく伝えたりすることが大切だと分かった。次回はいよいよ、「つながりジャンルベスト3」を選んでもらうので、海外の小学生に世界とのつながりを分かりやすく伝えられるよう、「伝えたい内容」を整理しよう。

【働かせたい見方・考え方】

○「世界各国の生産品や良さに着目し、生産国の魅力の伝え方について考えさせる」ための「深めの働きかけ」

“どうしたら、海外の小学生に世界とのつながりをさらに分かりやすく伝えられるのだろうか。”と問い、さまざまな表現方法と表現内容の再構築を通して、相手意識をもちながら、生産品の良さに着目し、伝えたい内容の整理（文の順番、選択）や自分の考えや気持ちなどについて考えるように促す。

《評価規準》【思・判・表】話すこと【発表】ウ（ロイロノート 動画）

「世界各国の生産品の良さに着目し、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを伝えているか」

伝える相手や伝える目的を確認することで、言語活動間指導の目的をはっきりとさせ、言語面・内容面の両面の指導を効果的に行うことができました。

言語活動間指導での働きかけ

『どうしたら、海外の小学生に世界とのつながりを分かりやすく伝えられるのだろうか？』

- ①相手意識・目的意識の再確認
- ②表現内容（伝える内容の順番・選択）の再構築
- ③表現方法の確認

後半の紹介英文 ※赤字は言語活動間の指導後に追加した文章

Hello. We are the clothes team. Look at this picture.
What's this? Can you guess?
This is my T-shirt. **I like white. It's cool.**
Where is it from? Can you guess?
It's from France. France is in Europe. **France is a nice country.**
You can see the Eiffel Tower. It's beautiful.
Thank you for listening.

<研究内容3>

□ 教師の授業改善と適切な評価方法

大田式ふり返り 5つのポイント

1. 分かるようになったこと（新しい発想と、達成したこと）
2. 仲間のいいなと思ったこと
3. まだもやもやしていること、迷っていること
4. 自分とつながって考えたこと（生活課題とつなげて、最終課題とつなげて）
5. *かならず書くこと（1-4の中からえらんで書く）

次授業でチャレンジしたいこと

低学年 中学年 高学年

分かったことを仲間に伝える
ノートやタブレットに入力する
他者の発言を参考にし、学びを深める

研究内容3【評価】授業後の工夫

① 教師の授業改善と適切な評価方法

② 教師の授業改善と適切な評価方法

③ 教師の授業改善と適切な評価方法

④ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑤ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑥ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑦ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑧ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑨ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑩ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑪ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑫ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑬ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑭ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑮ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑯ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑰ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑱ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑲ 教師の授業改善と適切な評価方法

⑳ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉑ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉒ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉓ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉔ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉕ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉖ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉗ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉘ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉙ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉚ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉛ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉜ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉝ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉞ 教師の授業改善と適切な評価方法

㉟ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊱ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊲ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊳ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊴ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊵ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊶ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊷ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊸ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊹ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊺ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊻ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊼ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊽ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊾ 教師の授業改善と適切な評価方法

㊿ 教師の授業改善と適切な評価方法

全校で取り組んでいる5つの振り返りポイントから、一単位時間ごとに振り返りの視点を児童に示すことで、児童が自身の成長を実感したり、次時への課題点を明確にしたりすることにつながりました。また、振り返りを児童間で共有することで、互いの成長を認め合ったり、仲間の良さから自己の学びを見つめ直したりすることができました。